

平成27年度 栃木県校友会学術研修会 並びに賀詞交歓会

平成28年2月11日（祝）午後1時半より宇都宮市のホテルニューイタヤにおいて、平成27年度栃木県校友会学術研修会並びに賀詞交歓会が開催された。

◆第17回美酒・美味探求の会

研修会前日の午後7時より宇都宮市の創作和料理「みつわ」で「第17回美酒・美味探求の会」が開催された。この会は柿沼幸宏先生（53回）の発案による年1回開催の親睦会で、今回は研修会講師としておいでくださる八重垣 健 生命歯学部衛生学講座教授（68回）をご招待してのフグ尽くしとなった。

まず筆者持ち込みの「五橋 立春朝搾り 純米吟醸生原酒」にて乾杯し、その後而今、一白水成、天寿、明尽、遊穂と、佐川先生がお持ちくださった芋焼酎「明るい農村 熟成古酒」等を次々に飲み比べ、温野菜に次いでフグ刺し、白子酒、白子蒸し、焼き白子、フグちりと酒に合わせていき、フグ雑炊で締め、デザートは越冬完熟みかんであった。

◆学術研修会

2月11日午後1時半より田代高志専務理事（72回）の司会のもと、佐川徹三副会長（68回）による開会の挨拶の後、校歌を高らかに斉唱し、大川 新会長（62回）とご来賓の近藤勝洪校友会本部長、柴田 勝 日本歯科医師会副会長・栃木県歯科医師会会長（57回）よりご挨拶をいただいた。次に、この度瑞宝双光章叙勲の栄に浴された八板 誠 先生（47回）に記念品が授与され、会員よりの祝福を受けられた。

その後、半田 功 副会長（78回）を座長とし、講師には八重垣教授をお迎えし、「肝臓再生医療：歯科が創生リードする」という演題でご講演いただいた。先生はBritish Columbia 大学にて臨床教授を務められると同時にNorth Vancouver 市にて開業歯科医も務めてこられた。アメリカでは歯科衛生士による徹底的な定期的口腔ケアが主流となっており、54～77%の受診率だそうである。また定期的



フグ刺し



焼きフグ白子



美酒の数々



近藤会長



柴田日歯副会長



大川栃木県校友会会長



八板先生



八重垣教授

受診者のうち3人に1人は治療を要する「患者」となるということで、1,000人当たり歯科医師1人という現況では歯科医師不足という状況だそうである。一方、我が国においては同様の歯科医師の割合であるにもかかわらず歯科医師過剰と言われている。これは定期受診率の低さに起因するものであり、重要な課題といえよう。

また、本学においてはいち早く「歯髄バンク」を導入したが、歯髄細胞の持つ計り知れないポテンシャルが明らかになりつつあるそうである。再生医療において、歯髄を利用するという点で、歯科医師抜きには成し得ない時代が到来するという、夢のようなお話を伺った。質疑応答も活発であったが、安西未央子副会長（68回）の挨拶で研修会は閉会となった。



賀詞交歓会での美酒

◆賀詞交歓会

引き続いての賀詞交歓会は清水 力 副議長（72回）の乾杯にて開宴となった。美味しい料理と持ち込みのお酒、そして何よりも和気藹々とした会話で大いに盛り上がり、宴もたけなわの中、名取喜久雄顧問（50回）の三本締めでお開きとなった。

（田代貴之・78回記）